

日本大学松戸歯学部

研究実施における情報公開 (単施設研究用)

研究の名称； 口腔内環境の変化が脳構造へ及ぼす影響 (承認番号 EC15 - 020)

研究機関・講座； 日本大学松戸歯学部・顎口腔機能治療学講座

研究責任者； 専任講師・飯田 崇

研究期間；平成 28 年 1 月 ～ 平成 32 年 12 月

1. 研究対象者

2010 年度以降に日本大学松戸歯学部付属病院脳ドック外来を受診し、脳 MRI 画像およびパノラマエックス線画像の撮影を行った方

2. 研究概要

現在、顎口腔機能治療学講座では、2010 年度以降に日本大学松戸歯学部付属病院脳ドック外来を受診し、脳 MRI 画像およびパノラマエックス線画像の撮影を行った方の情報を基に上記の研究課題を実施しております。この研究課題で利用する MRI 画像等の利用については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、本学倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

<目的>

口腔内環境を健全な状態で保つことは誤嚥性肺炎や糖尿病等の全身疾患の予防につながる事が分かっています。しかしながら、口腔内環境を健全に保つことが脳にどのような影響を及ぼすか解明が進んでいません。そこで本研究では口腔内環境と脳の関係について検討し、皆様が当院に来院して歯科治療を行い口腔内環境を健全な状態で保つことの目的をより明らかにします。

<方法>

本学付属病院脳ドックを受診した患者さんの脳 MRI 画像、口腔内を撮影したエックス線写真、診療録に記載された年齢、性別を解析の対象とします。脳 MRI 画像から脳構造について数値化し、エックス線写真、診療録から得られる口腔内環境の記録を用いて両者間の関係を調べます。

3. 研究に利用する試料・情報等

- 1) 脳MRI画像
- 2) パノラマエックス線画像
- 3) 診療録情報（年齢、性別等）

【試料・情報等の取扱い】

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした試料・情報等には匿名化処理を行い安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

4. お問い合わせ先

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます

なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報・試料を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。また、その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者：日本大学松戸歯学部・顎口腔機能治療学講座・専任講師・飯田 崇
電話番号：047 - 360 - 9614

以上